



医療スタッフのページ

「切らずに治す」IVR

放射線科

インターベンショナルラジオロジー(IVR: interventional radiology) は、聞き慣れない言葉かもしれませんが、血管造影、超音波断層撮影、CT、内視鏡などリアルタイムの動画像を観察しながら行う治療方法です。手術より低侵襲(体力の負担が軽い)、局所治療効果が高い、医療費が安い、何回も繰り返し施行できる等の利点があり、技術の進歩と共に発展を遂げている分野です。

IVR は、大きく血管系と非血管系に分けられますが、当院で実施されている血管系の IVR をいくつか紹介します。

肝癌等に対する動脈塞栓術：腫瘍に栄養を供給している血管を止めてしまう

冠動脈の血管形成術：心筋梗塞を起して狭くなった血管を風船で広げて血液の流れを良くする

脳血管内治療：脳動脈瘤(脳の血管にできた小さなこぶ)に、大腿の付け根の動脈から通した管(カテーテル)を瘤手前まで持っていき、瘤を破裂させないようにプラチナ製のコイルでふさぐ。また細くなった血管を風船で広げて治療する。

など様々な治療が行われています。

「切らずに治す」技術の進歩は、着実に進んできています。

おくすりと飲食物との相互作用

～その3～

薬剤部

おくすり同士の「飲み合わせ」の他に、おくすりと飲食物などとの間にも「飲み合わせ」に注意が必要なものがあります。

ワーファリン(血栓症の治療薬)は**納豆**や**クロレラ**などによってこの薬の作用が弱まるおそれがあります。

具体的には、納豆などと一緒にこの薬を服用すると、血液が固まり易くなる事があります。これは納豆菌が腸の中でビタミンK(血液が固まるしくみに必要なビタミン)を産生し、薬の作用を弱めるために「飲み合わせ」(作用減弱)が起こります。

薬剤部で配布している「おくすりの説明書」では、このような内容についてもお知らせしていますので参考にして下さい。



ハー、ハクション !!

検査科

今年は、2月より花粉情報が、テレビ等で報道されています。「ハー、ハクション!!」とクシャミをされる方がお見えになりますが、風邪でもなさそうなのに、やたらにクシャミが出ると思われる方は、一度、医師に相談して、鼻炎等のアレルギー検査を受けてみてください。もし、花粉等アレルギーであれば、早めに予防して、毎日を、少しでも快適に過ごしたいものです。